



トラストだより



池ノ谷トラスト地の中心、見える範囲全てがトラスト地という場所から撮影。(2021年10月2日 職員撮影)

「新たな価値」を発信する一年に

理事長 米田 真理子

寒の入りとともに寒さが一段と厳しくなってきましたが、皆様におかれましてはお健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年、当財団はトラスト地における動植物等の調査や天然林再生に向けた取り組みを継続させるとともに、会議などのオンライン化をはかり、Facebookを開設し平日は毎日投稿するなど広報に力を入れ、ウィズコロナ下での活動を確立することとなりました。しかし、一方で奥山水源域の状況をみますと、放置人工林による奥山の荒廃だけでなく、風力発電設備、大型太陽光発電施設の建設など、「再生可能エネルギー」という名目で押し進められる森林大規模伐採により、水源の森が失われていく現状があります。



コロナ禍で「新たな価値」が問われる中、当財団はナショナル・トラストによる奥山水源域の保全、命の森の保全を新たな価値として発信します。今年はトラスト地における野生動植物等の調査・視察をさらに強化するとともに、天然林再生に向けた取り組みを続けます。そして、その事例や成果を目に見える形でしっかりと発信し、水源の森の重要性をさらに広めていきたいと考えています。今年も変わらぬご支援のほどよろしく願い申し上げます。

クレジットカードでの会費・ご寄附のお振込もできます！



ホームページから
お願いします。

<https://www.okuyama-trust.org/> ご入会-ご寄附/

※太字部分は日本語入力です。
QRコードはこちら→

「山を持つ」ことの責任

～ 森を守り、水を守り、命を守る～

兵庫県宍粟市戸倉トラスト地（約120ha）には10haほど人工林があり、購入当初（2006年、NPO法人）より広葉樹林化事業を続けています。トラスト地から湧き出し、沢を流れる水は下流の方たちの生活用水ですので、沢筋では重機やガソリンを用いず、すべて手作業で事業を行っています。今まで皮むき間伐や植樹会などを開催し、ボランティアの方々にご協力いただき、ゆっくりですが着実に広葉樹林化への歩を進めています。

2021年記録的な積雪があり、春、大量の雪が沢へ流れた勢いで、林内に光を入れるため伐採し、横倒しにしていた針葉樹までも、沢へ押し出されてしまいました。当財団職員は現地へ通い、地元集落の方やしそ森林組合と調査・協議を重ねました。このまま沢沿いの伐採木に土砂などが堆積すれば土石流の危険性があること、皮むき間伐を施した針葉樹およそ110本についても倒木の可能性があるとのこと。沢付近で動力は使用せずほぼ人力で伐採木を引き揚げ、皮むき間伐木はチェーンソーにて伐採し流されないように整理することを、森林組合に依頼しました。ウッドショックによる木材価格高騰の最中で、森林組合も多忙を極めていましたが、地元集落の危機ということで、他の現場と並行して実施していただき、秋頃には全ての作業が完了しました。



上段：沢をまたいでいた倒木を取り除き、流されないように整理しました。

下段：皮むき間伐を行った針葉樹を伐採し倒木を防ぎ、また光が多く入るようになりました。（写真提供：しそ森林組合）

当財団のスローガン“森を守り、水を守り、命を守る”。この戸倉での保全事業もまさに森、水、命を守るためであり、山主として奥山保全トラストに課せられた使命・責任でもあります。今回の事業は皆様にご支援いただいた寄附金によって、行うことができました。心より感謝申し上げます。これからも皆様に託された自然への思いを実践に移し、責任を持って森保全・再生活動に取り組んで参ります。

トラスト地管理資金等に
ご協力ください

・ゆうちょ銀行振替口座 00920-4-305993
(口座名) 公益財団法人 奥山保全トラスト